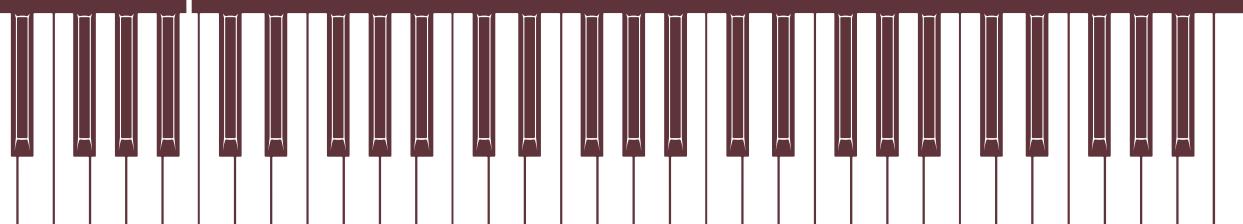




学校用オルガン

SE-8000

取扱説明書



安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しています。いずれもお客様の安全や機器の保全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

記号表示について



記号は、危険、警告または注意を示します。



記号は、禁止行為を示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。



記号は、行為を強制したり指示したりすることを示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

*お読みになった後は、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。



警告

この表示内容を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。



この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

禁止

感電や火災、または故障などの原因になります。異常を感じた場合など、機器の点検修理は必ずお買い上げの楽器店または別紙のヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。



浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

禁止

感電や火災、または故障の原因になります。



水や飲み物を楽器にこぼさない。

禁止

また、楽器の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。

感電や火災、または故障の原因になります。



電源は必ず交流 100V を使用する。

必ず実行

エアコンの電源など交流 200V のものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。

必ず実行

感電のおそれがあります。



禁止

故障状態を放置しない。

楽器や関連備品の故障状態を放置すると思わぬ事故が発生することがあります。故障に気づいた場合は直ちに、お買い上げの楽器店または別紙のヤマハ修理ご相談センターに点検・修理をご依頼ください。

- 鍵盤蓋のソフトランディング機構が劣化や故障していると勢いよく蓋が閉じ、手指を挟むことがあります。
- スタンドなどのかじめなどが緩んでがたついた状態で使用していると、壊れて楽器が落下したりしてケガをすることがあります。
- 本体や周辺機器から異常な臭いや煙が出たらすぐに電源スイッチを切り、電源プラグや電源アダプターをコンセントから抜いてください。感電や火災、または故障のおそれがあります。
- 電源コードなどの被覆剥けを放置したり、ビニールテープなどで応急修理したままにすると、感電したり、発煙・発火に至ることがあります。



必ず実行

電源プラグにはこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。

感電やショートのおそれがあります。



注意

この表示内容を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。



電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。

禁止

電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



タコ足配線をしない。

禁止

コンセント部が異常発熱して発火したりすることがあります。



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

必ず実行

電源コードが破損して、感電や火災が発生するおそれがあります。



禁止

電源コードやプラグがいたんだときは使用しない。また、長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電、ショート、発火などの原因になります。



禁止

直射日光のあたる場所（日中の車内など）やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、またほこりや振動の多いところで使用しない。

本体のパネルが変形したり内部の部品が故障したりする原因になります。

**大音量による聴覚障害に注意する。**

- 楽器や音響機器をヘッドフォンや他の音響機器などと接続する場合は、すべての楽器や機器の電源を切った状態で行ってください。大音量による聴覚障害や、感電または機器の損傷の原因になることがあります。
- 電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小にしてください。さらに、演奏を始める場合もボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げていき適切な音量にしてください。大音量により聴覚障害を起こしたり、感電または機器の損傷の原因になることがあります。
- 楽器や音響機器を単独で、あるいはヘッドフォン、外部アンプ、外部スピーカーなどと組み合わせて使用した場合、設定によっては、大音量が発生し永久的な難聴となるおそれがあるため、注意してください。

**テレビやラジオ、スピーカーなど他の電気製品の近くで使用しない。**

デジタル回路を多用しているため、テレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。

**不安定な場所に置かない。**

機器が転倒して故障したり、お客様がケガをする原因になります。

**楽器は2人で静かに運ぶ。**

楽器を移動する際は、キャスター（車輪）のロックを外し、大人2人以上で静かに運んでください。キャスターを利用しての移動は、滑らかな平坦面でのみでゆっくりと行ってください。傾いた所や凹凸のある道、砂利道ではキャスターを利用した移動は行わないでください。

**キャスターのロックに乗らない。遊ばない。**

ロックが急に外れる、またはロックが急にかかるなど、お客様がケガをする原因になり、たいへん危険です。

**キャスターは必ずロックする。**

楽器を移動するとき以外は必ずロックしてください。また、ロックしたまま移動しないでください。

**楽器を移動するときは、必ず電源コードをコード掛けに固定し、それ以外の接続ケーブルはすべて外した上で行う。**

コードをいためたり、お客様が転倒するおそれがあります。

**本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学そうきんなどは絶対に使用しない。また、本体上にビニール製品やプラスチック製品などを置かない。**

本体のパネルや鍵盤が変色／変質する原因になります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。

**鍵盤フタの開け閉めに注意する。**

自分の指や友達の指をはさまないでください。よく確認してから開け閉めしてください。

**鍵盤フタに力を加えない。**

鍵盤フタに物をのせる、乗る、よりかかる、ぶらさがるなど、鍵盤フタに強い力を加えないでください。また、鍵盤フタで遊ばないでください。鍵盤フタが破損したり、お客様がケガをする原因になります。

**本体の上に乗ったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。**

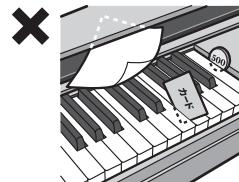
本体が破損したり、お客様がケガをする原因になります。

**本体を壁につけない。**

換気が十分でないと、本体内部に熱がこもり、火災が発生するおそれがあります。

**鍵盤フタやパネル、鍵盤のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。**

感電、ショート、火災や故障の原因になることがあります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの楽器店またはヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

**ネジを定期的に締め直す。**

長期間の使用で楽器がゆるむことがあります。ネジがゆるんだ状態で使用を続けられますと、部品が脱落したりして楽器本体や椅子が破損・転倒してケガをするおそれがあります。ゆるんでいる場合はネジを締め直してから使用してください。

**楽器のまわりで遊ばない。**

楽器に登ったり、下やまわりで遊んだりしないでください。滑り落ちたり頭をぶつけたりしてケガをするおそれがあります。また楽器に寄りかかったり腰掛けたりしないでください。楽器が転倒したり、不意に動いたりしてケガをするおそれがあります。

**本体の下の板に乗らない。**

楽器が倒れてケガをするおそれがあります。また、板が割れたりペダルの配線が切れるおそれがあります。

**ペダル部に指を入れない。**

ペダルとペダルカバーのすき間に指や物を入れないでください。ケガをしたりペダルが故障したりするおそれがあります。

**オルガン付属の専用椅子、または別にお求めのオルガン椅子は、オルガンの演奏用以外に使用しない。**

- オルガンの椅子を遊び用具や踏み台にすると、椅子が転倒したり壊れたりして、事故につながるおそれがあります。
- 同時に二人以上で使用すると、姿勢や椅子に無理が生じ、事故につながるおそれがあります。オルガンの椅子は二人以上で使用しないでください。
- 背もたれがない椅子では小さな児童・生徒様の後方への転倒に注意してください。

**アクセス中はUSB記憶装置を抜かない。**

USB記憶装置のデータ再生中に抜くと、データの破損やUSB記憶装置の故障のおそれがあります。

**使わないときはUSB記憶装置を外す。**

USB記憶装置に当たったりして、USB記憶装置やソケットがこわれるおそれがあります

不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。また、データが破損したり失われたりした場合の保証はいたしかねますので、ご了承ください。

使用後は、必ず電源を切りましょう。また、長時間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

* この製品は、電気用品安全法に定める技術基準に適合しています。

ごあいさつ

このたびは、ヤマハ学校用オルガン SE-8000をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。学校用オルガン SE-8000は、楽器づくりの経験豊かなヤマハが最新の技術を駆使し、指導用オルガンの一層の充実をめざして開発した画期的なオルガンです。

ご使用にあたりましては、この取扱説明書を一読のうえ、SE-8000の機能を充分にご活用いただき、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

お読みになった後は大切に保管してください。わからないことや不具合が生じた時、きっとお役に立ちます。

主な特長

1. 美しくクリアな音色

音づくりにヤマハ独自のAWM2音源方式を採用。美しくクリアな音色を実現しました。

2. XG音色を採用した多彩な音色

内蔵音色はパネル音色、GM音色合わせて計128音色。また、市販のXG音色対応のデータ曲集も再生することができます。

3. 演奏の幅を広げるキーボードパーカッション

ドラム、シンバル、トライアングルなど、61音色のキーボードパーカッションを採用。

4. シーケンサー(録音/再生装置)を内蔵

USB記憶装置を使用して、演奏を録音・再生することができます。また、6つのパートボタンを使って、最大10トラックまでの重ね録音にも対応しています。

5. MIDIファイルやオーディオファイルに対応

本体での鍵盤演奏をMIDIデータとしてUSBフラッシュメモリーなどのUSB記憶装置に録音できます。また、USB記憶装置に保存してあるオーディオファイル(.aac、.m4a、.mp3、.wav)やMIDIファイル(SMF、ESEQ)を、鍵盤演奏のバックングソングとして再生できます。

6. 教室のすみすみまで届く豊かな音量

アンプは40W×2。13cmウーファーと5cmツイーターの2ウェイスピーカーと相まって、豊かな音が響きます。また、演奏者側にもモニタースピーカーを搭載し、演奏中もバランスのよい音を聞きながら弾くことができます。

7. メトロノーム、リズム、タッチレスポンスなど豊富な機能を搭載

さまざまな場面での活用を考え、便利な機能を搭載しました。

8. マイク入力端子の装備

MIC INPUT端子(入力ボリューム付)が装備されており、マイクを接続して集会活動時等のモニタースピーカーとしても活用できます。



GM (General MIDI)

General MIDIは音色配列やMIDI機能の一定の基準で、GMと略称で呼ばれています。

GMシステムレベル1に対応しているので、市販のGM対応のデータ曲集を再生することができます。



XG

XGはGMを大幅に拡張し、表現力豊かなデータ再生、編集を実現するヤマハ独自の規格です。

市販のXG対応のデータ曲集を再生することができます。

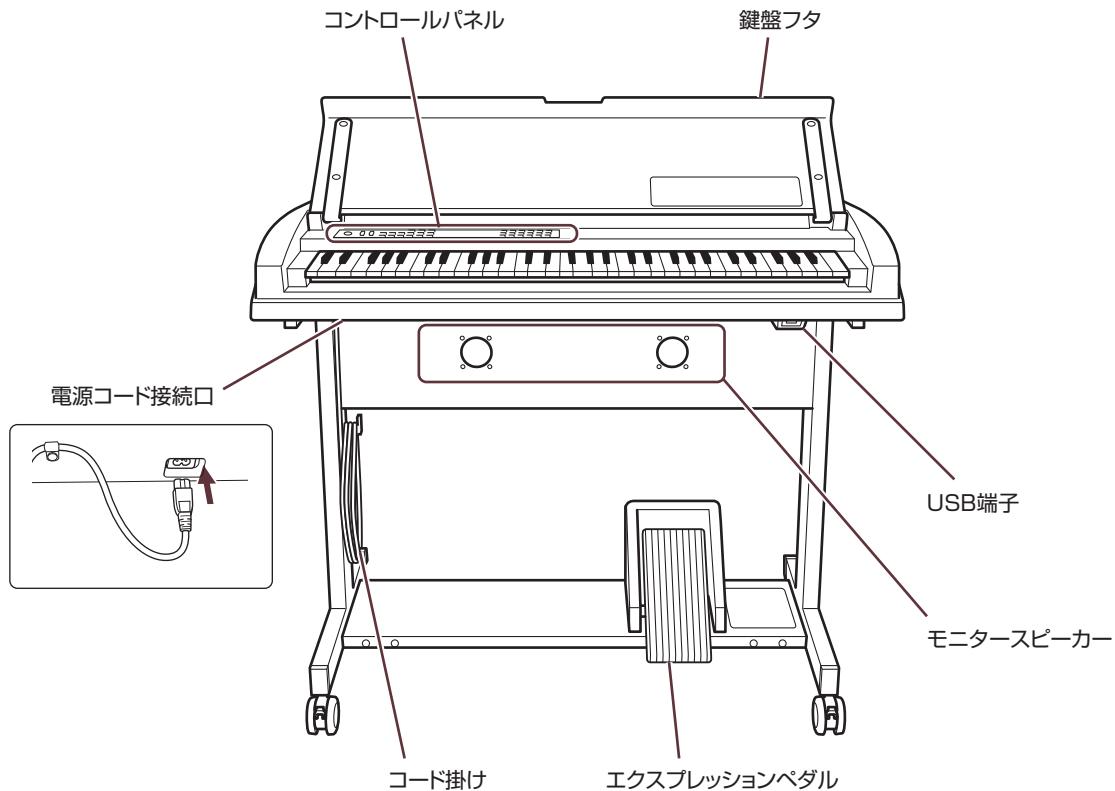
目次

安全上のご注意	2
ごあいさつ	4
各部の名称	6
コントロールパネル	6
外部入出力端子	7
基本的な操作	8
[電源]ボタン	8
[全体音量]レバー	8
[リズム/再生音量]レバー	8
エクスプレッションペダル	8
演奏の操作	9
パネル音色ボタン	9
[GM音色]ボタン	9
[打楽器]ボタン	10
[移調]ボタン	11
[チューニング]ボタン	11
[効果]ボタン	11
リズム機能の操作	13
[リズム]ボタン	13
[再生/一時停止]ボタン	13
[停止]ボタン	13
[イントロ/エンディング]ボタン	13
[テンポ]ボタン	14
[メトロノーム]ボタン	14
[拍子]ボタン	14
曲(ソング)の再生操作	15
再生のしかた	15
再生パートの選択	17
パートの再生音量調節	17
再生テンポ/再生速度の変更	18
再生時のメトロノーム設定	18
曲の一 部分を繰り返し聞く(A-Bリピート)	19
全曲を繰り返し聞く(全曲リピート)	19
曲(ソング)の録音操作	20
録音のしかた	20
1曲消去	22
トラック(パート)消去	22
他の機器と接続	23
USB端子について	24
USB端子ご使用上の注意	24
USB記憶装置の取り扱いについて	24
MIDIについて	25
MIDI(ミディ)って何?	25
外部MIDI機器との接続	25
コンピューターと接続	26
再生できるデータについて	27
MIDIファイル	27
オーディオファイル	27
メッセージ一覧	28
困ったときは	29
仕様	30
付録	31
MIDIインプリメンテーション・チャート	31

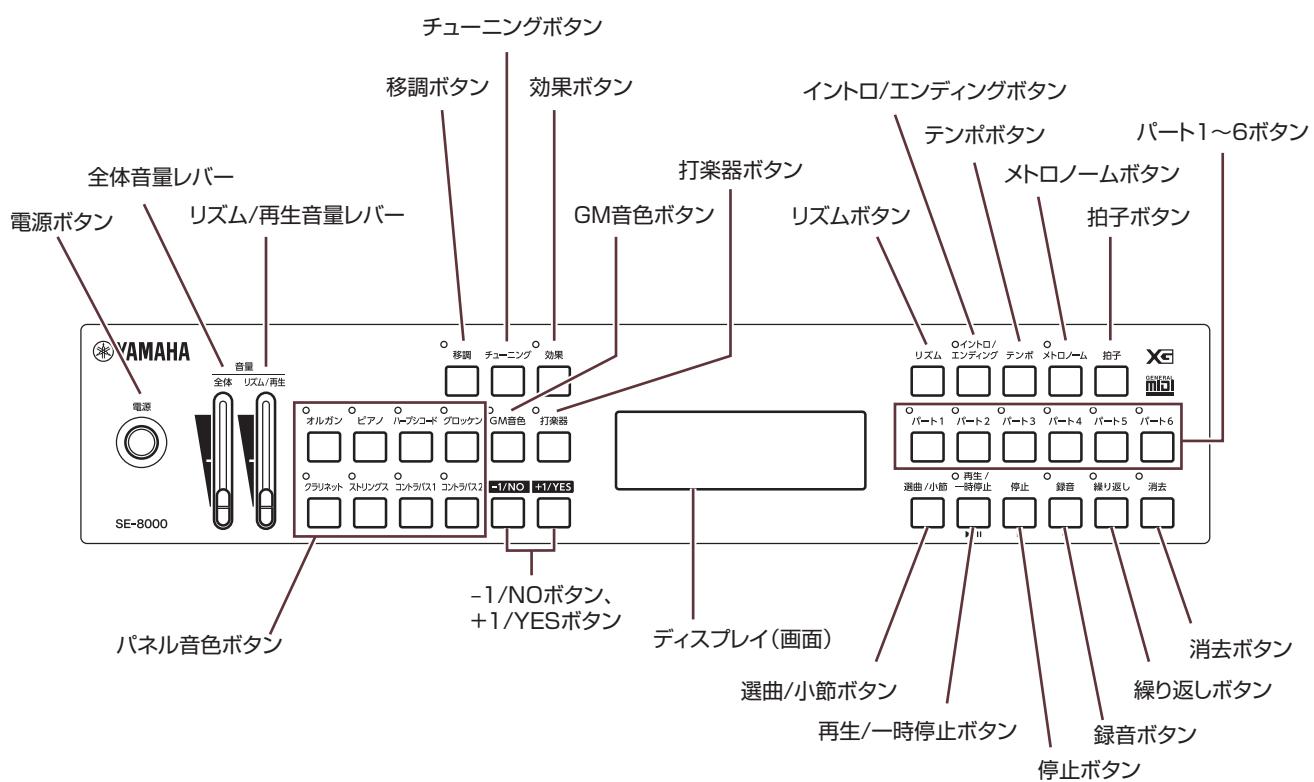
この製品は、ヤマハ(株)が著作権を有する著作物やヤマハ(株)が第三者から使用許諾を受けている著作物を内蔵または同梱しています。その著作物とは、すべてのコンピュータープログラムや、伴奏スタイルデータ、MIDIデータ、WAVEデータ、音声記録データなどのコンテンツを含みます。ヤマハ(株)の許諾を受けることなく、個人的な使用の範囲を越えて上記プログラムやコンテンツを使用することについては、著作権法等に基づき、許されていません。

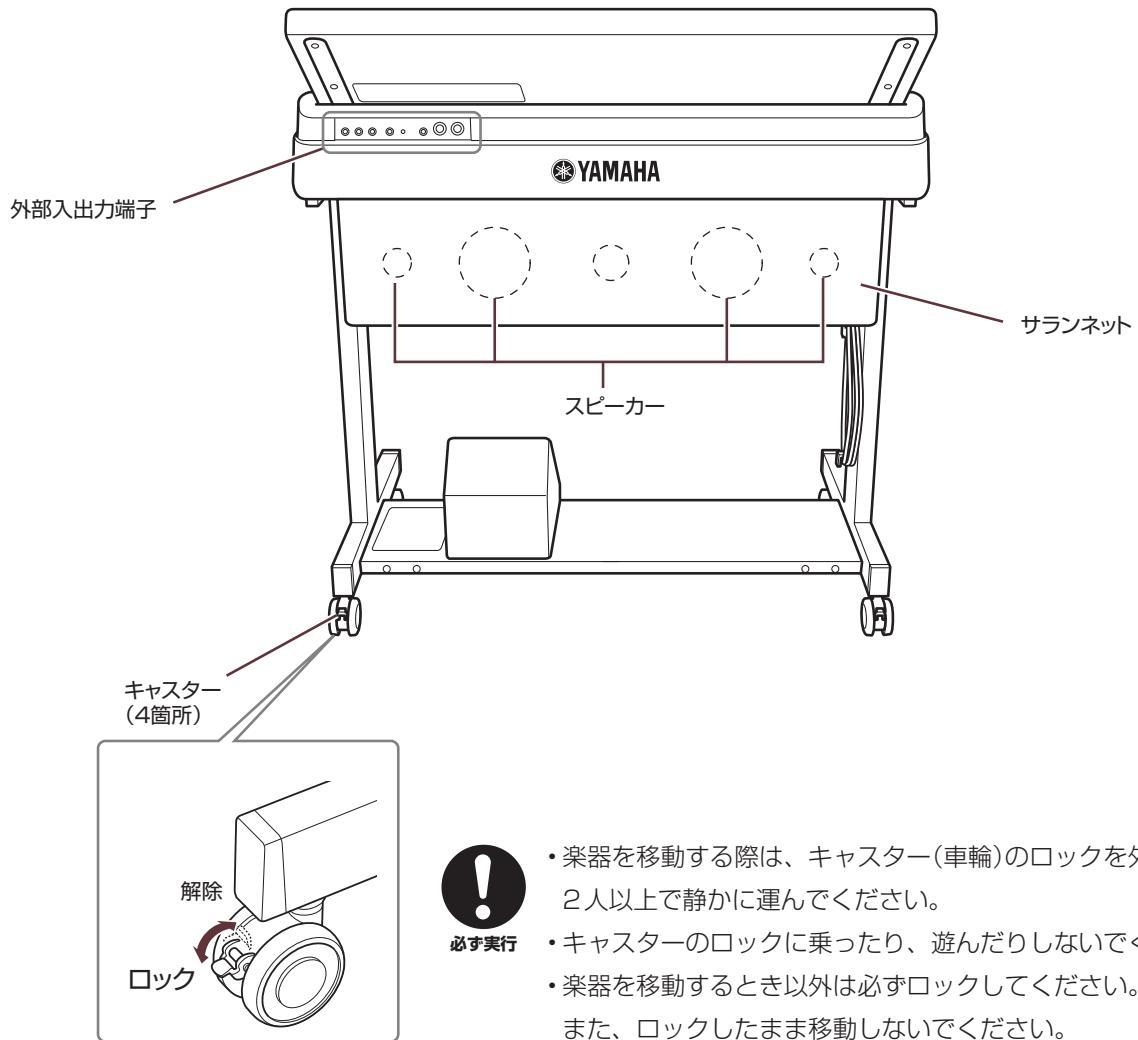
- ・この製品には、XGフォーマット以外の音楽/サウンドデータを扱う機能があります。その際、元のデータを本機に最適化して動作させるため、オリジナルデータ(音楽/サウンドデータ)制作者の意図どおりには再生されない場合があります。ご了承のうえ、ご使用ください。
- ・ヤマハ(株)および第三者から販売もしくは提供されている音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- ・MIDIは社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- ・その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

各部の名称

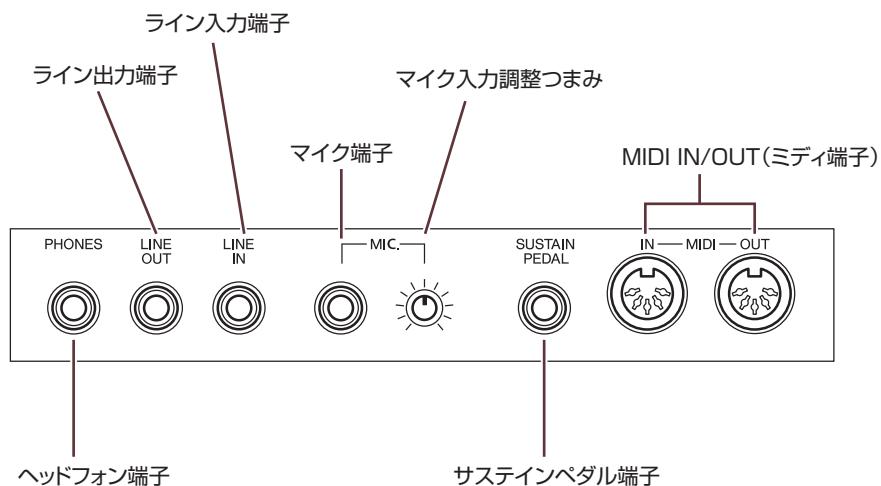


コントロールパネル

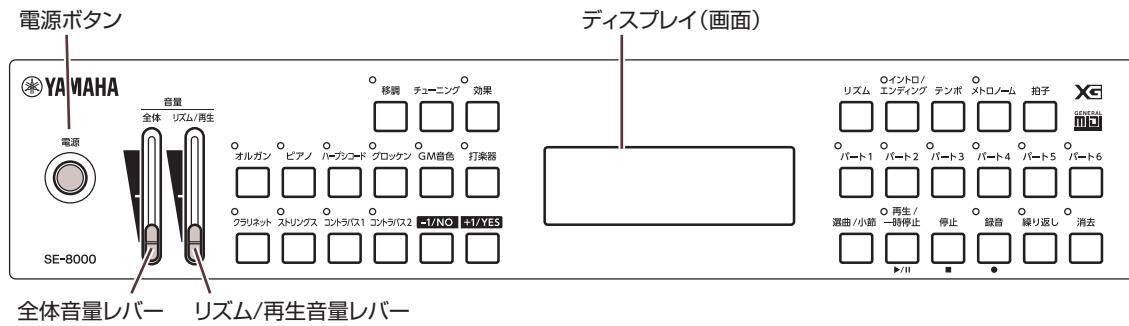




外部入出力端子



基本的な操作

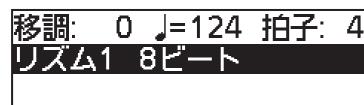
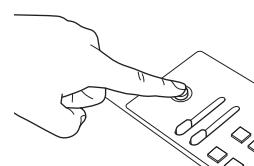
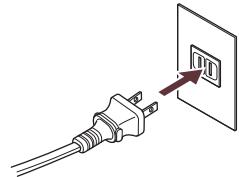


[電源]ボタン

本体下側の電源コード接続口にコードがしっかりと差し込まれていることを確認し(6 ページ)、電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。

[電源]ボタンを押し3秒ほどすると、パネル音色ボタンの[オルガン]ランプが点灯し、演奏可能な状態になります。

ディスプレイ(画面)が初期状態の表示になります。



[全体音量]レバー

全体の音量をコントロールするレバーです。エクスプレッションペダルをいっぱいに踏み込んだ時の最大の音量は、このレバーの位置により決まります。レバーを上にスライドさせるほど音は大きくなります。

本製品は、音量を大きめに設定してあります。周囲が共鳴したり、ビリつく場合は、音量を小さくしてください。

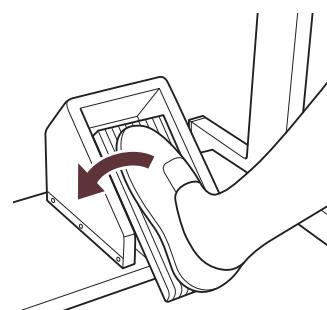
[リズム/再生音量]レバー

リズムスタイル、メトロノーム、ソング再生の音量をコントロールするレバーです。レバーを上にスライドさせるほど音は大きくなります。

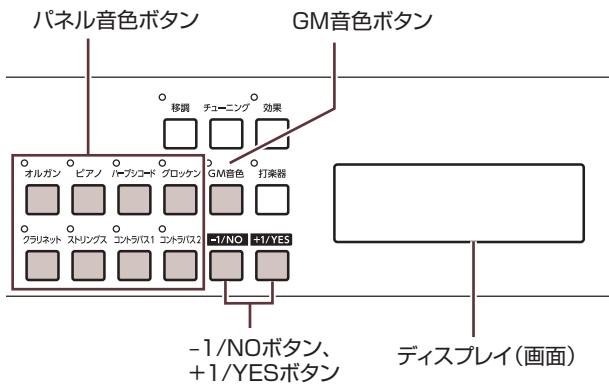
エクスプレッションペダル

鍵盤の音量をコントロールするペダルです。踏み込む深さによって音量をコントロールできますので、演奏中、音に強弱をつけることができます。ペダルを踏み込んだときの最大音量は全体音量レバーで決まります。

リズムスタイル、メトロノーム、ソング再生の音量はエクスプレッションペダルでは変化しません。

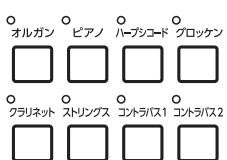


演奏の操作



パネル音色ボタン

8種類のパネル音色を選ぶボタンです。各音色のボタンを押すと、ランプが点灯します。



[GM音色]ボタン

GM音色を選ぶボタンです。

[GM音色]ボタンを押すとランプが点灯し、そのとき選択されているGM音色番号と音色名が表示されます。

※電源を入れた直後は「1 グランドピアノ」です。



- [-1/NO] または [+1/YES] ボタンを押す毎に、GM音色番号が1つ減少または増加します。
- [-1/NO] または [+1/YES] ボタンを押し続けると、GM音色番号が連続的に減少または増加します。
- [-1/NO] ボタンと [+1/YES] ボタンを同時に押すと、GM音色番号「1」の「グランドピアノ」に戻ります。

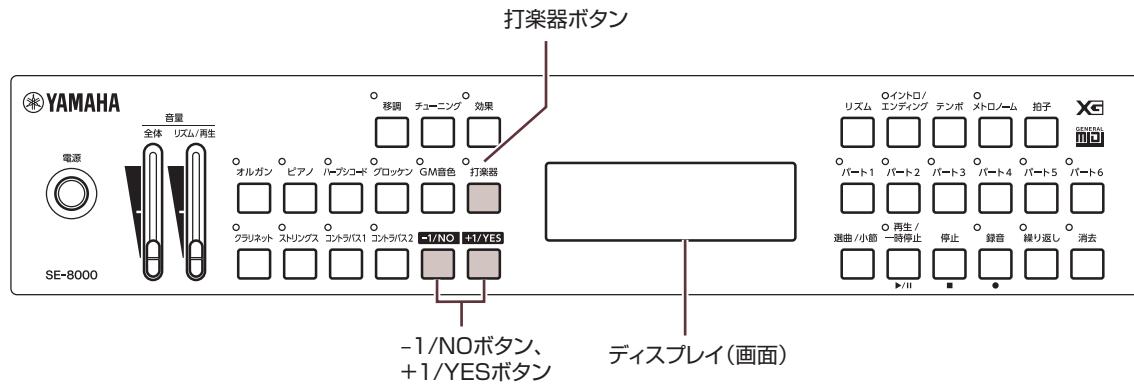
※ [GM音色] ボタンを押しながらパネル音色ボタンを押すと、それぞれ以下のGM音色番号にジャンプします。

パネル音色ボタン	選ばれるGM音色
オルガン	1 グランドピアノ
ピアノ	17 ドローバーオルガン
ハープシコード	33 アコースティックベース
グロッケン	49 ストリングスアンサンブル1
クラリネット	65 ソプラノサクソфон
ストリングス	81 矩形波リード
コントラバス1	97 レイン
コントラバス2	113 ティンクルベル

GM音色一覧

分類	音色番号	音色名	分類	音色番号	音色名
ピアノ系	1	グランドピアノ*	ソプラノサクソфон	65	ソプラノサクソфон
	2	ブライトピアノ		66	アルトサクソфон
	3	エレクトリックグランドピアノ		67	テナーサクソфон
	4	ホンキートンクピアノ		68	バリトンサクソfon
	5	エレクトリックピアノ1		69	オーボエ
	6	エレクトリックピアノ2		70	イングリッシュホルン
	7	ハープシコード*		71	バスーン
	8	クラビ		72	クラリネット*
クロマチックバーカッショニ系	9	チェレスター	ピッコロ	73	ピッコロ
	10	グロッケンシュピール*		74	フルート
	11	ミュージックボックス		75	リコーダー
	12	ピアノフォン		76	パンフルート
	13	マリンバ		77	ボトル
	14	シロフォン		78	尺八
	15	チューブラーベル		79	ホイッスル
	16	ダルシマー		80	オカリナ
オルガン系	17	ドローバーオルガン	矩形波リード	81	矩形波リード
	18	パーカッシブオルガン		82	ノコギリ波リード
	19	ロックオルガン		83	カリオペリード
	20	チャーチオルガン		84	チフリード
	21	リードオルガン*		85	チャランリード
	22	アコーディオン		86	ボイスリード
	23	ハーモニカ		87	5度リード
	24	タンゴアコーディオン		88	ベース&リード
ギタリ系	25	ナイロンギター	ニューエイジパッド	89	ニューエイジパッド
	26	スチールギター		90	ウォームパッド
	27	ジャズギター		91	ポリシンセパッド
	28	クリーンギター		92	クワイアパッド
	29	ミュートギター		93	ボウドパッド
	30	オーバードライブギター		94	メタリックパッド
	31	ディストーションギター		95	ハローパッド
	32	ギターハーモニクス		96	スイープパッド
ベース系	33	アコースティックベース	シンセエフェクト系	97	レイン
	34	フィンガーベース		98	サウンドトラック
	35	ピックベース		99	クリスタル
	36	フレットレスベース		100	アトモスフィア
	37	スラップベース1		101	ブライテンス
	38	スラップベース2		102	ゴブリン
	39	シンセベース1		103	エコー
	40	シンセベース2		104	サイエンスフィクション
ストリングス系	41	バイオリン	エスニック系	105	シタール
	42	ピオラ		106	バンジョー
	43	チェロ		107	三味線
	44	コントラバス*		108	箏
	45	トレモロストリングス		109	カリンバ
	46	ピッチカートストリングス*		110	バグパイプ
	47	ハープ		111	フィドル
	48	ティンパニ		112	シャナイ
アンサンブル系	49	ストリングスアンサンブル1*	パーカッシ系	113	ティンクルベル
	50	ストリングスアンサンブル2		114	アゴゴ
	51	シンセストリングス1		115	スチールドラム
	52	シンセストリングス2		116	ウッドブロック
	53	コーラス アー		117	和太鼓
	54	ボイス ウー		118	メロディックタム
	55	シンセボイス		119	シンセドラム
	56	オーケストラヒット		120	リバースシンバル
ブラス系	57	トランペット	サウンドエフェクト系	121	フレットトイズ
	58	トロンボーン		122	プレストイズ
	59	チューバ		123	海辺
	60	ミュートトランペット		124	鳥のさえずり
	61	フレンチホルン		125	電話のベル
	62	ブラスセクション		126	ヘリコプター
	63	シンセプラス1		127	拍手
	64	シンセプラス2		128	銃声

*の付いた音色は、パネル音色に使われています。



[打楽器] ボタン

打楽器(ドラムキット)を選ぶボタンです。

[打楽器] ボタンを押すと、ディスプレイにドラムキット名「キット1 スタンダード」が表示され、鍵盤で打楽器演奏が可能になります。ドラムキットは全部で9種類の中から選ぶことができ、それぞれドラム、シンバル、トライアングルなど61種類の打楽器を持っています。鍵盤C1～C6に鍵盤上のイラストの打楽器が割り当てられます。

[打楽器] ボタンを押すとランプが点灯し、そのとき選択されているキット番号とドラムキット名が表示されます。

※電源を入れた直後は「キット1 スタンダード」です。



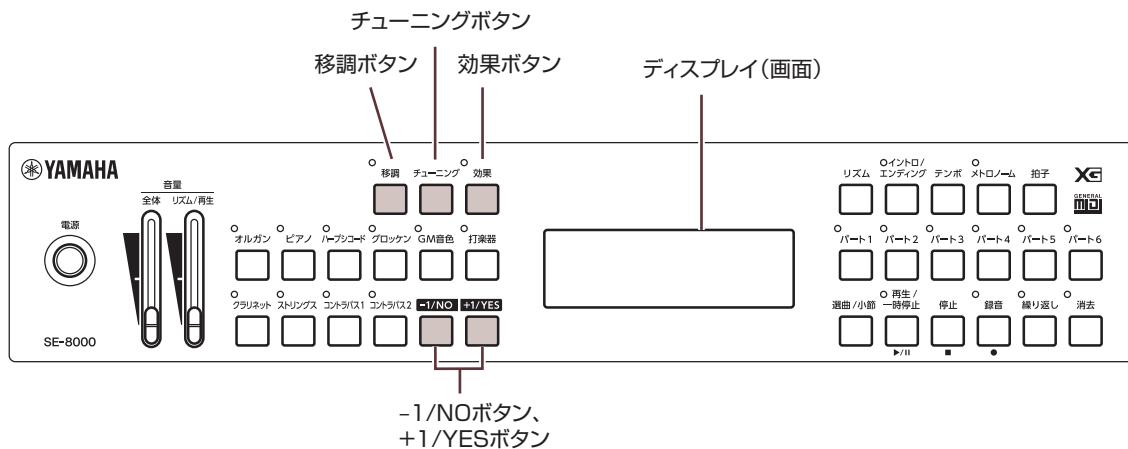
- [-1/NO]または[+1/YES]ボタンを押す毎に、下表のキット番号が1つ減少または増加し、そのドラムキット名が表示されます。
- [-1/NO]または[+1/YES]ボタンを押し続けると、キット番号が連続的に減少または増加します。
- [-1/NO]ボタンと[+1/YES]ボタンを同時に押すと、「キット1 スタンダード」に戻ります。

ドラムキット一覧

キット番号	ドラムキット名
1	スタンダード
2	スタンダード2
3	ルーム
4	ロック
5	エレクトロ
6	アナログ
7	ジャズ
8	ブラシ
9	クラシック

リズム音源キーコード対応表

鍵盤名	打楽器名	鍵盤名	打楽器名
C1	SeqクリックH	G3	スプラッシュシンバル
C#	ブラッシュタップ	G#3	カウベル
D1	ブラッシュスワール	A3	クラッシュシンバル2
D#1	ブラッシュスラップ	A#3	ビブラスラップ
E1	ブラッシュタップスワール	B3	ライドシンバル2
F1	スネアロール	C4	ポンゴH
F#1	カスタネット	C#4	ポンゴL
G1	スネアHソフト	D4	コンガHミュート
G#1	スティックス	D#4	コンガHオープン
A1	バスドラムソフト	E4	コンガL
A#1	オープンリムショット	F4	ティンパレスH
B1	バスドラムハード	F#4	ティンパレスL
C2	バスドラム	G4	アゴゴH
C#2	サイドスティック	G#4	アゴゴL
D2	スネアM	A4	カバサ
D#2	ハンドクラップ	A#4	マラカス
E2	スネアHハード	B4	サンバホイッスルH
F2	フロアタムL	C5	サンバホイッスルL
F#2	ハイハットクローズ	C#5	ギロショート
G2	フロアタムH	D5	ギロロング
G#2	ハイハットペダル	D#5	クラベス
A2	ロータム	E5	ウッドブロックH
A#2	ハイハットオープン	F5	ウッドブロックL
B2	ミッドタムL	F#5	クイーカミュート
C3	ミッドタムH	G5	クイーカオープン
C#3	クラッシュシンバル1	G#5	トライアングルミュート
D3	ハイタム	A5	トライアングルオープン
D#3	ライドシンバル1	A#5	シェイカー
E3	チャイニーズシンバル	B5	ジングルベル
F3	ライドシンバルカップ	C6	ペルツリー
F#3	タンバリン		



[移調]ボタン

鍵盤の演奏やMIDIファイル再生の音高を変化させるためのボタンです。

[移調]ボタンを押すと、カーソルが移調表示に移動します。

※電源を入れた直後は「0」です。

移調: 0 ♩=124 拍子: 4
リズム1 8ビート

- [-1/NO]または[+1/YES]ボタンを押す毎に、半音単位で変化させることができます。設定範囲は-12～+12(±1オクターブ)です。
- 移調が「0」以外に設定されている場合は、[移調]ボタンのランプが点灯します。
- [-1/NO]ボタンと[+1/YES]ボタンを同時に押すと、移調が「0」に戻り、[移調]ボタンのランプが消えます。

[チューニング]ボタン

音の高さ(ピッチ)を調節する(調律)ためのボタンです。

[チューニング]ボタンを押している間、現在設定されているA3の周波数が表示され、カーソルが移動します。

※電源を入れた直後は「442.0」Hzに設定されています。

A=442.0Hz ♩=124 拍子: 4
リズム1 8ビート

- [チューニング]ボタンを押しながら[-1/NO]または[+1/YES]ボタンを押す毎に、周波数が0.2Hz(ヘルツ)ずつ減少または増加します。設定範囲は415.2Hz～466.2Hzです。
- [チューニング]ボタンを押しながら[-1/NO]と[+1/YES]ボタンを同時に押すと、「442.0」Hzに戻ります。

[効果]ボタン

「ビブラート」、「リバーブ」、「サステイン」、「タッチレスポンス」の効果を選ぶボタンです。

[効果]ボタンを押すと[効果]ボタンのランプが点灯し、ディスプレイに「ビブラート」、「リバーブ」、「サステイン」、「タッチレスポンス」が表示されます。

※ファームウェアのバージョンも表示されます。

ビブラート: 0 リバーブ: 8
サステイン: オフ v1.00
タッチレスポンス: 2 ファームウェアのバージョン

[効果]ボタンを押す毎に、カーソルが移動します。

カーソルが「タッチレスポンス」表示上にあるときに[効果]ボタンを押すと、通常の表示に戻り、[効果]ボタンのランプが消えます。

●「ビブラート」効果

音が揺れる効果を加えます。

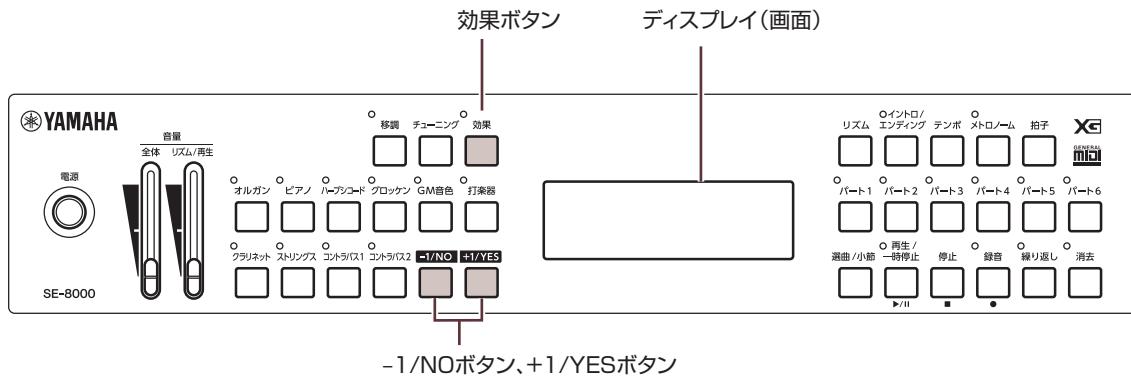
[効果]ボタンを押して、カーソルを「ビブラート」表示に移動します。

※電源を入れた直後は「0」に設定されています。

ビブラート: 0 リバーブ: 8
サステイン: オフ v1.00
タッチレスポンス: 2

- [-1/NO]または[+1/YES]ボタンを押す毎に、ビブラートの深さが1つ減少または増加します。設定範囲は0～15です。
- [-1/NO]ボタンと[+1/YES]ボタンを同時に押すと、ビブラートの深さが「0」に戻ります。

※全音色に効果がかかります。



●「リバーブ」(残響)効果

臨場感のある広がりを与える効果です。

[効果]ボタンを押して、カーソルを「リバーブ」表示に移動します。

※電源を入れた直後は「8」に設定されています。

ビブラート: 0	リバーブ: 8
サステイン: オフ	v1.00
タッチレスポンス: 2	

- [-1/NO]または[+1/YES]ボタンを押す毎に、リバーブの深さが1つ減少または増加します。設定範囲は0~15です。
- [-1/NO]ボタンと[+1/YES]ボタンを同時に押すと、ビブラートの深さが「8」に戻ります。

※全音色に効果がかかります。

●「サステイン」効果

鍵盤から指を離したあと、音に余韻を持たせる「サステイン」効果をオン/オフします。

[効果]ボタンを押して、カーソルを「サステイン」表示に移動します。

※電源を入れた直後は「オフ」に設定されています。

ビブラート: 0	リバーブ: 8
サステイン: オフ	v1.00
タッチレスポンス: 2	

- [-1/NO]ボタンを押すと「オフ」に、[+1/YES]ボタンを押すと「オン」になります。

※打楽器音には「サステイン」効果はかかりません。

※別売のフットスイッチ(FC5またはFC4)を[SUSTAIN PEDAL]端子に接続すると、「サステイン」効果のオン/オフを足元でコントロールすることができます。(23ページ)

●「タッチレスポンス」効果

鍵盤を押さえるタッチの強弱によって、音量と音色を変化させる効果です。

[効果]ボタンを押して、カーソルを「タッチレスポンス」表示に移動します。

※電源を入れた直後は「2」に設定されています。

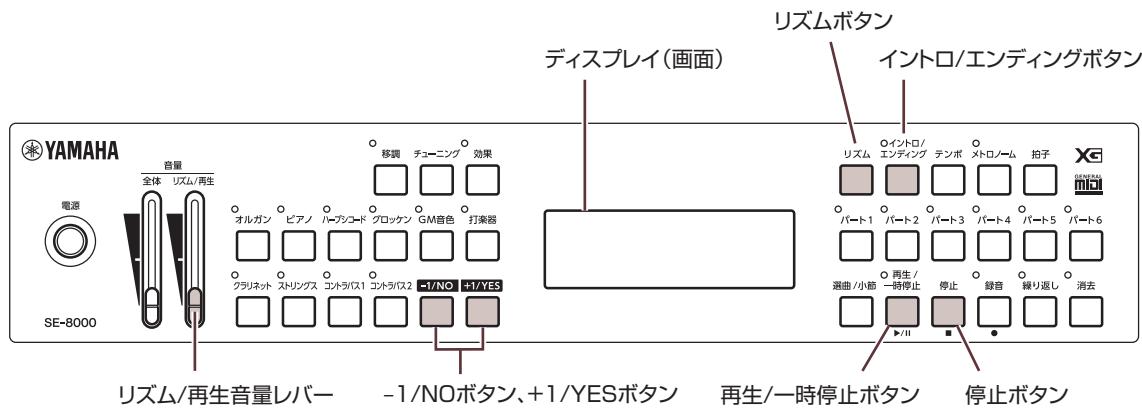
ビブラート: 0	リバーブ: 8
サステイン: オフ	v1.00
タッチレスポンス: 2	

- [-1/NO]または[+1/YES]ボタンを押す毎に、タッチレスポンスの感度が1段階減少または増加します。設定範囲は「オフ」「1」「2」「3」です。同じ強さで鍵盤を弾いた場合、「1」の方が「3」よりも大きく音が鳴ります。「オフ」にすると、鍵盤を弾く強さに関わらず同じ大きさで音が鳴ります。

- [-1/NO]ボタンと[+1/YES]ボタンを同時に押すと、タッチレスポンスの感度が「2」に戻ります。

※全音色に効果がかかります。

リズム機能の操作

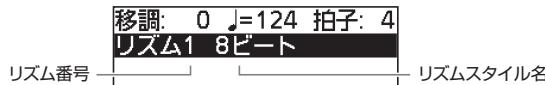


[リズム]ボタン

リズムスタイルを選ぶボタンです。

[リズム]ボタンを押すと、そのとき選択されているリズム番号とリズムスタイル名が表示されます。

※電源を入れた直後は「リズム1 8ビート」です。



- [-1/NO]または[+1/YES]ボタンを押す毎に、下表のリズム番号が1つ減少または増加し、そのリズム番号とリズムスタイル名が表示されます。
- [-1/NO]ボタンと[+1/YES]ボタンを同時に押すと、「リズム1 8ビート」に戻ります。

※リズム停止中にリズムスタイルを選択すると、選んだリズムスタイルの標準テンポと拍子に設定されます。

※リズムが鳴っているときに別のリズムスタイルを選択すると、次の小節から新しいリズムスタイルに変わります。この場合、テンポは変わりません。

リズムスタイル一覧

リズム番号	リズムスタイル名	標準テンポ	拍子
1	8ビート	124	4
2	16ビート	120	4
3	シャッフル	125	4
4	スwing	118	4
5	マーチ	120	4
6	マーチ6/8	132	2
7	ワルツ	140	3
8	サンバ	108	4
9	ビギン	112	4
10	チャチャチャ	130	4

[再生/一時停止]ボタン

リズムを再生(スタート)するボタンです。

[再生/一時停止]ボタンを押すとランプが点灯し、リズムがスタートします。リズムをストップさせるには、[停止]ボタンを押します。ストップするとランプが消灯します。

※[再生/一時停止]ボタンで、リズムをストップさせることはできません。

[停止]ボタン

リズムを停止(ストップ)するボタンです。

[イントロ/エンディング]ボタン

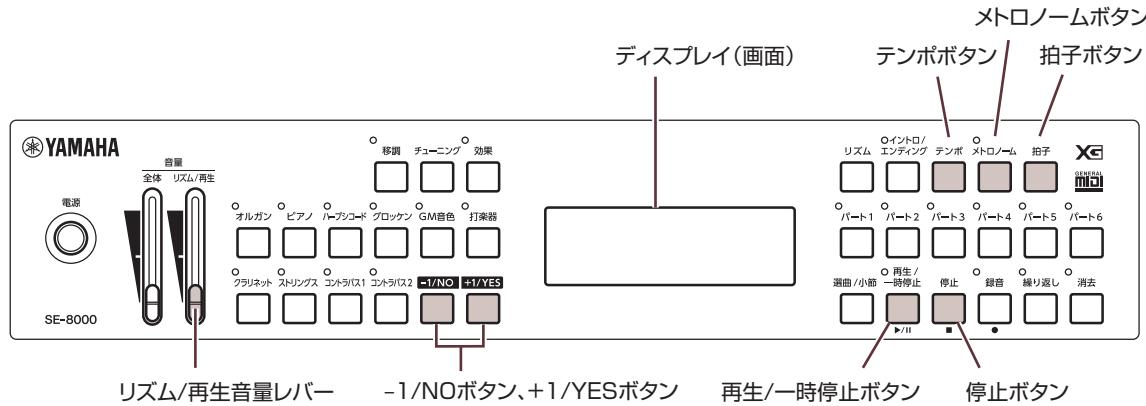
リズムの始まりにイントロパターンを、終わりにエンディングパターンをつけるためのボタンです。

- リズム停止中に [イントロ/エンディング] ボタンを押すと、イントロパターンの待機状態(ランプ点滅)になります。待機状態で [イントロ/エンディング] ボタンを押すと、解除されます。

- イントロパターンの待機状態で [再生/一時停止] ボタンを押すと、イントロパターンを再生後、ノーマルパターンが再生されます。

- リズム再生中に [イントロ/エンディング] ボタンを押すと、エンディングパターンの待機状態(ランプ点滅)になります。演奏中の小節を再生後にエンディングパターンが鳴り、リズムがストップします。

※イントロパターン再生中にリズムスタイルを変更すると、その小節の間は元のイントロパターンを再生し、次に選んだスタイルのイントロパターンを再生します。



[テンポ]ボタン

リズムのテンポを変更するためのボタンです。
[テンポ]ボタンを押すと、カーソルがテンポ表示に移動します。

※現在選択されているリズムスタイルの標準テンポに設定されています。

移調: 0 ♩=124 拍子: 4
リズム1 8ビート

- [-1/NO]または[+1/YES]ボタンを押す毎に、リズムのテンポが速くまたは遅くなります。設定範囲は32～280です。
- [-1/NO]ボタンと[+1/YES]ボタンを同時に押すと、現在選択されているリズムスタイルの標準テンポに戻ります。

[メトロノーム]ボタン

メトロノームを鳴らすボタンです。
1回押すとランプが点灯しメトロノームがスタートします。
もう一度押すとランプが消えメトロノームがストップします。

メトロノームの音量は[リズム/再生音量]レバーで調節します。1拍目が強拍(アクセント)になります。

- リズムがストップしている時に[メトロノーム]ボタンを押すと、画面に表示されているテンポと拍子でメトロノーム音が鳴ります。
- リズムが鳴っている時に[メトロノーム]ボタンを押すと、再生しているリズムのテンポと拍子に合わせてメトロノーム音が鳴ります。
- [メトロノーム]がオンの場合、リズムが鳴っている時にリズムをストップさせてもメトロノームは止まりません。

[拍子]ボタン

メトロノームの拍子を変更するためのボタンです。
[拍子]ボタンを押すと、カーソルが拍子表示に移動します。
※現在選択されているリズムスタイルの標準拍子に設定されています。

移調: 0 ♩=124 拍子: 4
リズム1 8ビート

- [-1/NO]または[+1/YES]ボタンを押す毎に、メトロノームの拍子が減少または増加します。設定範囲は0～8です。
- [-1/NO]ボタンと[+1/YES]ボタンを同時に押すと、リズムスタイルの標準拍子に戻ります。
- 拍子を「0」にすると、メトロノームは常に弱拍で鳴ります。
- 拍子を「1」にすると、メトロノームは常に強拍で鳴ります。

※リズム再生中に拍子を変えることはできません。

曲(ソング)の再生操作

この楽器では、録音した曲、市販の曲データを総称して「ソング」と呼んでいます。単に再生して楽しむだけでなく、ソングを再生しながら演奏の練習ができます。

USB記憶装置に保存されたMIDI(ミディ)ファイル/オーディオファイルを再生する方法を説明します。自分の演奏を録音(20ページ)して作ったMIDIファイルも、同様の方法で再生できます。

MIDIファイルとオーディオファイル

この楽器で再生できるソングには、MIDIファイルとオーディオファイルの2種類があります。

MIDIファイルは、鍵盤を押す/離すといった演奏の動きを記録したデータです。楽譜と同じように、どの鍵盤をどのくらいの強さでどのタイミングで弾いた、といった演奏情報が記録され、音そのものは記録されません。データ容量が小さく、また、音色の変更などの編集がしやすいのが特長です。

オーディオファイルは、演奏した音そのものを記録したデータです。カセットテープやボイスレコーダーなどに録音するのと同じしくみで記録したものです。

この楽器では、以下のソングが再生できます。

- この楽器での演奏を録音したソング(録音方法については20ページ参照)
- MIDIファイル: SMF (Standard MIDI File)形式またはESEQ形式のファイル
- オーディオファイル(.aac、.m4a、.mp3、.wav)

サンプリング周波数(kHz)	8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48
チャンネル数	1(モノラル)、2(ステレオ)
ビットレート(kbps)	8~320 (.aac、.m4a、.mp3の場合)
ビット長	8bit、16bit (.wavの場合)

※ファイルサイズが10MB以上の.aac、.mp3ファイルは認識(選択)できません。

※Shift JISと互換性のない文字コードを含むフォルダ名、ファイル名は正常に選択や再生ができません。

※あるフォルダ内のファイルやフォルダの総数は250個までです。

※フォルダ名、ファイル名は半角50文字までです(拡張子を含む)。また、フルパス名(最上位のフォルダからのすべてのフォルダ名とファイル名をつないだ名前)の長さは半角248文字までです。全角文字は半角文字2文字分になります。

※著作権保護機能を利用したオーディオファイルには対応していません。

NOTE

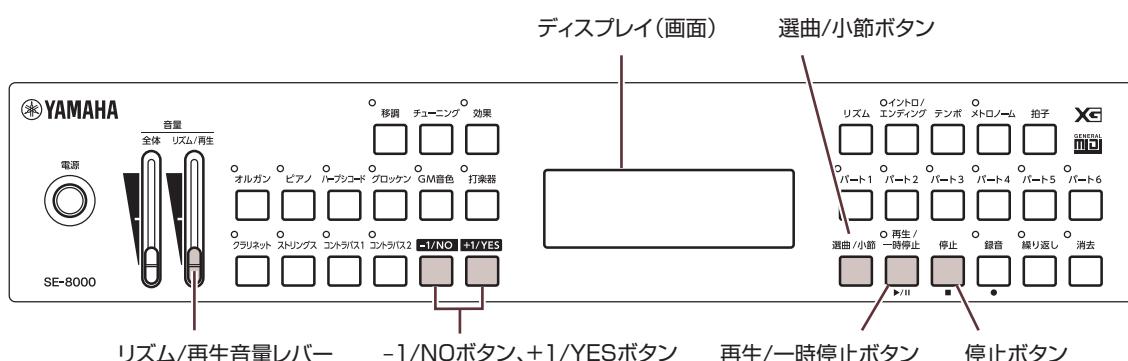
この楽器で再生できるソングのフォーマットについては、27ページをご覧ください。

再生のしかた

USB記憶装置をこの楽器に接続してください。USB記憶装置の取り扱いについては、24ページをご覧ください。

USB記憶装置

この取扱説明書では、USBフラッシュメモリーやUSBフロッピーディスクドライブなどをまとめてUSB記憶装置と表記しています。

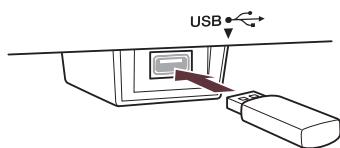


操作中、操作をスムーズに導くために、画面に各種のメッセージ(情報や確認など)が表示されることがあります。その意味や対処の方法については、28ページの「メッセージ一覧」をご覧ください。

曲(ソング)の再生操作

1. USB記憶装置をUSB端子に接続します。

ディスプレイに「メディアを認識中...」とメッセージが表示されます。表示が消えるまで、数秒間お待ちください。



2. [選曲/小節]ボタンを押します。

3. 表示がファイル名/フォルダ名に変わります。

● MIDIファイルの場合

ファイル名の右には、MIDIファイルであることを示す拡張子「.MID」または「.mid」が表示され、画面左下に「読み込み中」とメッセージが表示されます。

移調: 0	♪=120	拍子: 4
01 威風堂々 1番.MID		
読み込み中 [■]=戻る		

MIDIファイルにシーケンス名のデータが入っている場合、数秒後にその表示に変わります。

移調: 0	♪=120	拍子: 4
Pomp and Circumstance No.1		
[■]=戻る		

● オーディオファイルの場合

ファイル名の右には、オーディオファイルであることを示す拡張子「.aac」「.m4a」「.mp3」「.wav」が表示されます。

移調: 0	100%	拍子: - -
1 Ave Maria.m4a		
[■]=戻る		

● フォルダの場合

フォルダ名の左には、フォルダであることを示す「白」が表示されます。

移調: 0	拍子: - -
□フォルダ名	
[▶/■]=入る	

4. 再生する曲(ソング)を選択します。

ファイルまたはフォルダが複数ある場合は、[-1/NO]または[+1/YES]ボタンを押すと、ファイル名/フォルダ名が順に表示されます。

● 一つ下のフォルダ(階層)に移動したい場合は、[再生/一時停止]ボタンを押します。

● 一つ上のフォルダ(階層)に移動したい場合は、[停止]ボタンを押します。

移調: 0	拍子: - -
□Music with Solo	
[▶/■]=入る [■]=戻る	

[-1/NO]ボタンと[+1/YES]ボタンを同時に押すと、最初の表示に戻ります。(手順3の状態)

5. [再生/一時停止]ボタンを押します。

ランプが点灯して、再生がスタートします。

● MIDIファイルの場合

移調: 0	♪=120	拍子: 4
Pomp and Circumstance No.1		
小節: 1		小節番号

画面左下には小節番号が表示されます。

● オーディオファイルの場合

移調: 0	100%	拍子: - -
1 Ave Maria.m4a		
0:00		再生時間

画面左下には再生時間が表示されます。

6. 一時停止

再生中に[再生/一時停止]ボタンを押すと、ランプが点滅して一時停止になります。もう一度押すとランプが点灯して再生を続けます。

7. 早送り、早戻し

再生中または一時停止中に[-1/NO]または[+1/YES]ボタンを押すと、曲の早送り、早戻しができます。

● MIDIファイルの場合

小節単位で早送り/早戻しします。

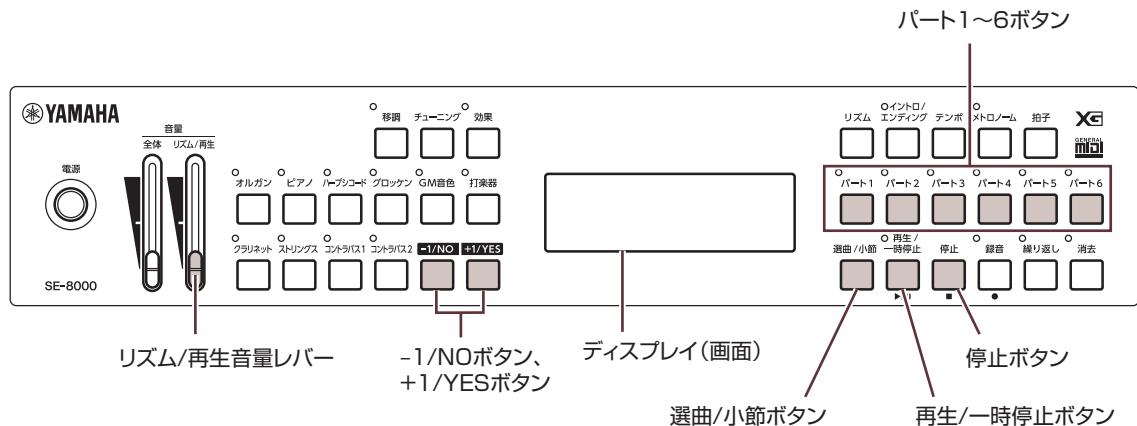
● オーディオファイルの場合

約3秒間隔で早送り/早戻しします。

8. 終了

曲が終了すると自動的に停止状態になります。

曲の途中で再生を止めたいときは[停止]ボタンを押します。



再生パートの選択

MIDIファイルの場合、[パート1]～[パート6]ボタンで、再生パートをオン/オフできます。ランプの点灯しているパートが再生されます。

※パート5には複数のトラックが割り当てられています(下表参照)。

※パート6はリズム専用トラックです。

※オーディオファイルを選択している場合は、パートのオン/オフは設定できません。ランプは全て消灯します。

パートの再生音量調節

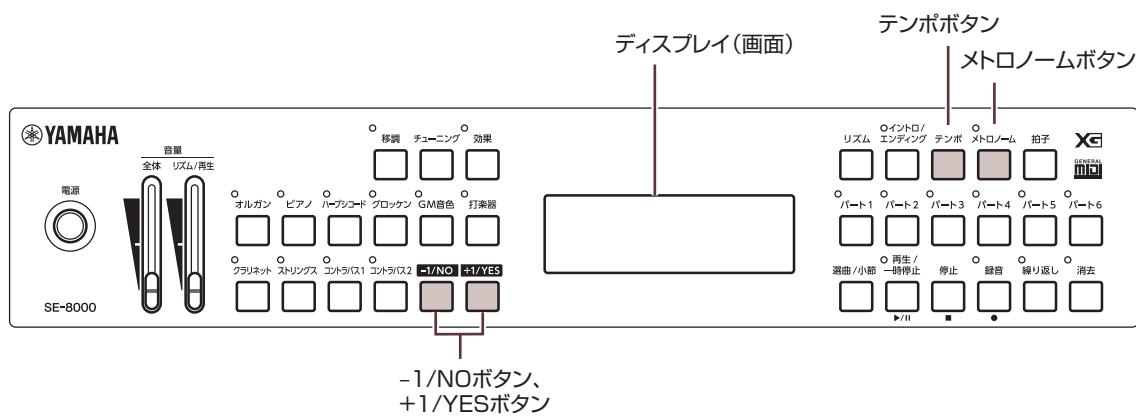
再生音量は[リズム/再生音量]レバーで調節できます。

※通常は最大で使用してください。

各ファイル形式のトラック割り当て

	パート1	パート2	パート3	パート4	パート5	パート6
SE-8000で録音したMIDIファイル	トラック1	トラック2	トラック3	トラック4	トラック5～9	トラック10、11
スタンダードMIDIファイル(GM、XG)	トラック1	トラック2	トラック3	トラック4	トラック5～9、11～16	トラック10
学校用オルガンソフト	トラック4	トラック5	トラック6	トラック7	トラック1～3、8～10	トラック15
ESEQファイル	トラック1	トラック2	トラック3	トラック4	トラック5～14、16	トラック15

曲(ソング)の再生操作



再生テンポ/再生速度の変更

[テンポ]ボタンを押すと、カーソルがテンポ/速度表示に移動します。

● MIDIファイルの場合

移調: 0 ♩=120 拍子: 4
Pomp and Circumstance No.1
[■]=戻る

- [-1/NO]または[+1/YES]ボタンを押すと、テンポが1つ減少または増加します。設定範囲は32~280です。
- [-1/NO]ボタンと[+1/YES]ボタンを同時に押すと、標準テンポに戻ります。

※ビートキャンセルしたMIDIファイルを選択した場合は、テンポ表示が「---」となり、変更できません。

● オーディオファイルの場合

移調: 0 100% 拍子:--
1 Ave Maria.m4a
[■]=戻る

- [-1/NO]または[+1/YES]ボタンを押すと、再生速度が1段階減少または増加します。速度の段階は「75」、「81」、「88」、「94」、「100」、「106」、「113」、「119」、「125」%です。
- [-1/NO]ボタンと[+1/YES]ボタンを同時に押すと、「100」%に戻ります。

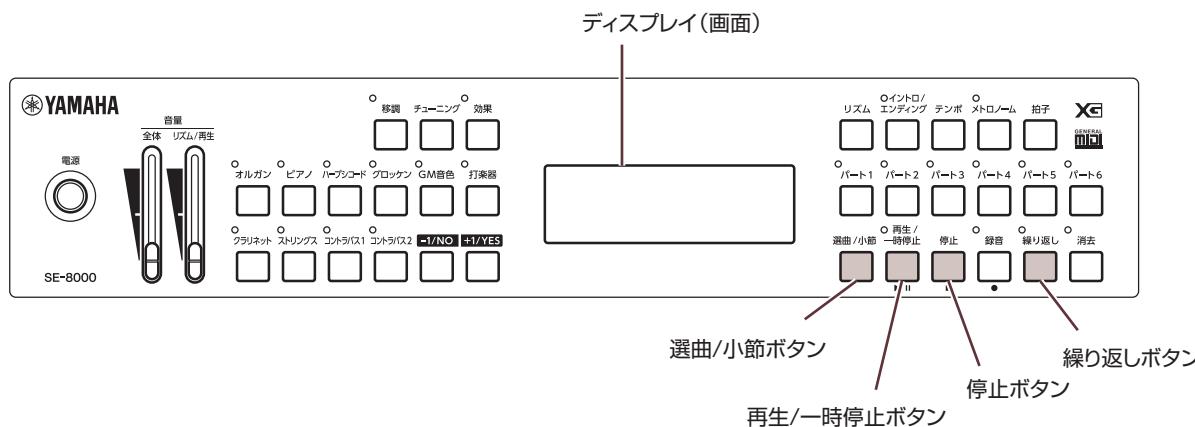
※再生速度が100%以外の場合、再生中にノイズが聞こえる場合があります。

再生時のメトロノーム設定

MIDIファイル再生時に、メトロノームを鳴らすことができます。

※オーディオファイルを選択している場合は、メトロノーム音は鳴りません。

- [メトロノーム]ボタンを押すと、ランプが点灯しメトロノームがスタートします。もう一度押すと、ランプが消えメトロノームがストップします。
- ソング停止時に[メトロノーム]ボタンを押すと、画面に表示されているテンポと拍子でメトロノーム音が鳴ります。
- 再生中に[メトロノーム]ボタンを押すと、再生しているソングのテンポと拍子に合わせてメトロノーム音が鳴ります。
- [メトロノーム]がオンの場合、ソングの再生をストップさせてもメトロノームは止まりません。



曲の一部分を繰り返し聞く(A-Bリピート)

1. 再生の始め(A点)をセットします。

[再生/一時停止] ボタンを押して再生をスタートします。繰り返したい再生の始め(A点)で [繰り返し] ボタンを押します。[繰り返し] ボタンのランプが点滅します。

画面右下に「繰り返し：A-」と表示されます。

移調: 0	♪=120	拍子: 4
Pomp and Circumstance No.1		
小節: 12	繰り返し:A-	

NOTE

- 再生が停止しているときに[繰り返し]ボタンを押すと、曲の先頭がA点になります。

2. 再生の終わり(B点)をセットし、A-Bリピート再生をスタートします。

繰り返したい再生の終わり(B点)で、再び [繰り返し] ボタンを押します。[繰り返し] ボタンのランプが点灯し、A点に戻り A-B リピート再生が始まります。

画面右下に「繰り返し：A-B」と表示されます。

移調: 0	♪=120	拍子: 4
Pomp and Circumstance No.1		
小節: 56	繰り返し:A-B	

MIDIファイルの場合、一定間隔を置き、タクト音に統いてA点からA-Bリピート再生が始まります。

NOTE

- B点をセットせずに曲が終了すると、曲の最後がB点になります。

3. 終了

[停止] ボタンを押すと、押した時点で再生を停止します。また、[繰り返し] ボタンを押すと [繰り返し] ランプが消え、曲の終わりまで再生して停止します。

全曲を繰り返し聞く(全曲リピート)

指定のフォルダに入っているすべての曲ファイルを、繰り返し再生することができます。

1. [選曲/小節] ボタンを押しながら、[繰り返し] ボタンを押します。

[繰り返し] ボタンのランプが点滅し、全曲リピートの待機状態になります。

画面右下に「繰り返し：全曲」と表示されます。

フォルダ内の最初の曲が選択されます。

移調: 0	♪=120	拍子: 4
Pomp and Circumstance No.1		
繰り返し:全曲		

2. 全曲リピート再生をスタートします。

[再生/一時停止] ボタンを押すと、全曲リピート再生が始まります。[繰り返し] ボタンのランプが点灯します。

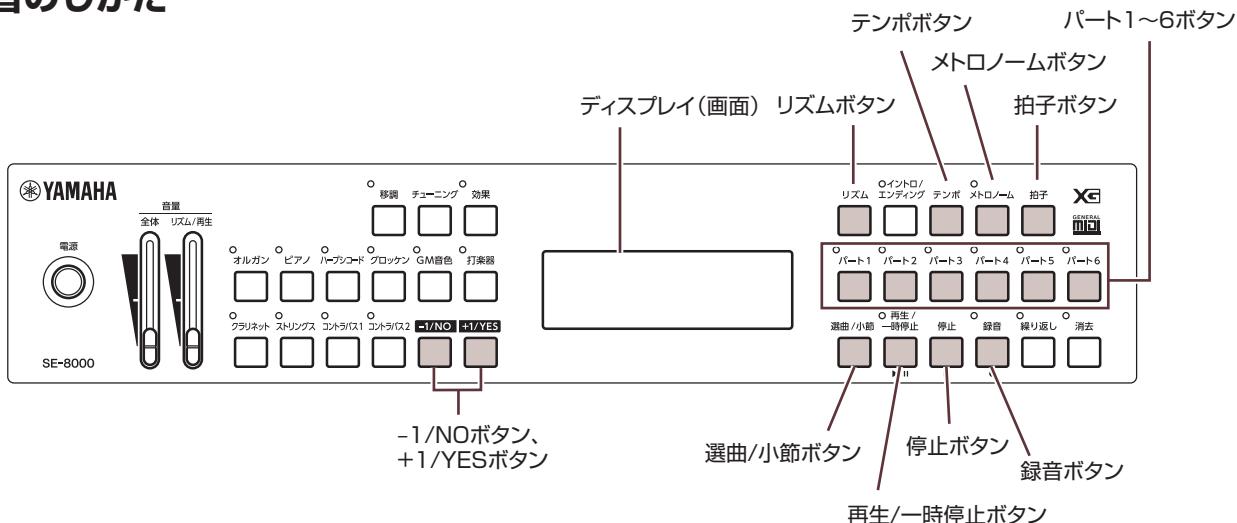
フォルダ内の最後の曲の再生が終了すると、再び最初の曲に戻って再生されます。

3. 終了

[停止] ボタンを押すと、押した時点で再生を停止します。また、[繰り返し] ボタンを押すと [繰り返し] ランプが消え、再生中の曲の終わりまで再生して停止します。

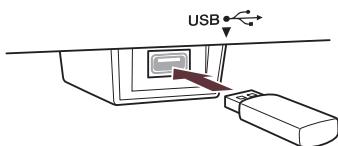
曲(ソング)の録音操作

録音のしかた



1. USB記憶装置をUSB端子に接続します。

ディスプレイに「メディアを認識中...」とメッセージが表示されます。表示が消えるまで、数秒間お待ちください。



2. [録音]ボタンを押します。

[録音]ボタンと[再生/一時停止]ボタンのランプが点滅し、録音待機状態になります。画面には録音用ファイル名が表示されます。



画面右横にメディアの残容量が、右下に録音トラックが表示されます。

録音待機状態を解除する場合は、[停止]ボタンまたは[録音]ボタンを押します。

3. メトロノームが鳴ります。

[メトロノーム]ボタンのランプが点灯し、録音されるテンポ、拍子でタクト音が鳴ります。

(タクト音は録音されません。)

タクト音を鳴らしたくない場合は、[メトロノーム]ボタンを押します。

4. 録音用ファイル(番号)を選択します。

[-1/NO]または[+1/YES]ボタンを押して、録音用ファイル番号を選びます。

001～060の録音ファイルが選択可能です。

[-1/NO]ボタンと[+1/YES]ボタンを同時に押すと、録音用ファイル番号が「001」に戻ります。

- ・録音待機中は、[テンポ]ボタンでテンポを変更することができます。また、新規の録音ファイルを選択中は、[拍子]ボタンで拍子を変更することができます。(14 ページ)
- ・テンポや拍子を変更した後、カーソルを録音用ファイル名表示へ戻すには[選曲/小節]ボタンを押します。

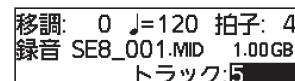
5. 録音パートを選択します。

[パート1]から[パート6]ボタンのいずれかを押します。押したパートのランプ(赤)が点灯し、そのパートへのトラックが録音待機状態になります。

● [パート5]ボタンを押した場合

パート5には複数のトラックが割り当てられています(17 ページ参照)。

[パート5]ボタンを押すと、カーソルが録音トラック表示に移動し、トラック「5」が選ばれます。[-1/NO]または[+1/YES]ボタンを押して、録音トラック「5～9」のいずれかを選択します。



● [パート6]ボタンを押した場合

パート6にはリズム用トラックが割り当てられています。[パート6]ボタンを押すと、「トラック」表示が「リズム録音」表示になり、リズムトラックが選ばれます。データはトラック10に記録されます。
新規の録音ファイルを選択中は、[+1/YES]ボタンを押してリズム録音を「オン」にすると、リズムスタイルを同時に録音することができます。録音したいリズムスタイルは、録音待機状態に入る前にあらかじめ[リズム]ボタンを押して選択しておきます。リズムスタイルはトラック11に記録されます。

移調: 0 ♩=120 拍子: 4
録音 SE8_001.MID 1.00GB
リズム録音:オフ

パート6を録音パートに選んだ場合は、[打楽器]ボタンが自動的にオン(点灯)になります。それ以外のパートを録音パートに選んだ場合は、[打楽器]ボタンは自動的にオフ(消灯)になります。

※録音待機中に[打楽器]ボタンを押すと、録音パートがパート6に切り替わります。

※録音パート以外のパートにデータがある場合、該当する[パート]ボタンのランプが緑色に点灯します。

6. [再生/一時停止]ボタンを押すと、録音が始まります。

鍵盤を弾いても、録音がスタートします。

録音中は、[録音]ボタンと[再生/一時停止]ボタンのランプが点灯します。

移調: 0 ♩=120 拍子: 4
録音 SE8_001.MID 1.00GB
小節: 17 トラック:1

録音パート以外のパートにデータがある場合は、そのデータが再生されます。

※録音中は、一時停止や早送り/早戻しはできません。

7. 録音終了

[停止]ボタンまたは[録音]ボタンを押します。

録音が終了し、[録音]ボタンと[再生/一時停止]ボタンのランプが消灯します。

データをUSB記憶装置に書き込んでいる間、画面左下に「書き込み中」と表示されます。

注意

「書き込み中」表示が出ている間は、絶対にUSB記憶装置を抜いたり電源を切ったりしないでください。USB記憶装置が壊れたり、データが壊れたりするおそれがあります。

この時、リズム/ソング関係の操作はできません。

書き込みが完了すると、録音されたファイル名が表示され、録音されたパートが再生オン状態になります([パート]ボタンのランプが緑色に点灯します)。

移調: 0 ♩=120 拍子: 4
SE8_001.MID

再び[録音]ボタンを押すと、最小番号の空きトラックが自動的に選ばれ、そのトラックに録音することができます。

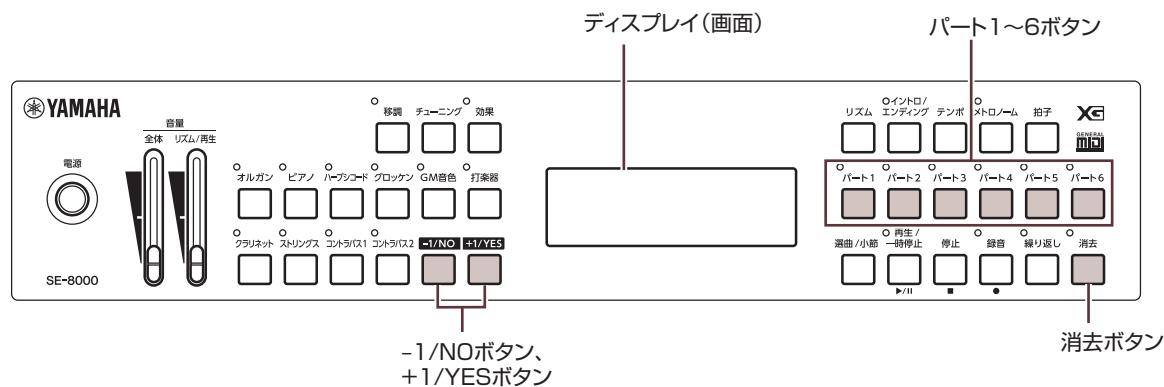
(リズムトラックは自動的には選ばれません。)

移調: 0 ♩=120 拍子: 4
録音 SE8_001.MID 1.00GB
トラック:2

NOTE

- パンチイン、パンチアウト録音はできません。録音トラックのすべてのデータが上書きされます。
- 本機で録音したファイル以外には、上書きや重ね録音ができません。
- 録音中にデータサイズがメディアの残容量または録音用内蔵メモリの容量(400KB)を超えそうになった場合、画面に「メモリフルエラー」とメッセージが表示され、録音が終了します。終了した時点までのデータは保存されます。
- MIDI入力からのイベントは録音されません。

曲(ソング)の録音操作



1 曲消去

1. SE-8000で録音したソングを選択します。

※この楽器で録音したソングのみ消去できます。それ以外は、選択しても消去できません。

移調: 0 ♩=120 拍子: 4
SE8_001.MID

2. [消去]ボタンを押します。

[消去]ボタンのランプが点滅し、画面に「1曲消去[NO]/[YES]?」と表示されます。

移調: 0 ♩=120 拍子: 4
1曲消去 [NO] / [YES] ?

消去をキャンセルする場合は、[-1/NO]ボタンを押します。

3. 1曲消去を実行します。

[+1/YES]ボタンを押すと1曲消去が実行されます。

[消去]ボタンのランプが点灯し、画面の左下に「書き込み中」と表示されます。

注意

「書き込み中」表示が出ている間は、絶対にUSB記憶装置を抜いたり電源を切ったりしないでください。USB記憶装置が壊れたり、データが壊れたりするおそれがあります。

4. 終了

消去が完了すると、[消去]ボタンのランプが消灯し、通常のソング選択表示に戻ります。

トラック(パート)消去

1. SE-8000で録音したソングを選択します。

※この楽器で録音したソングのみ消去できます。それ以外は、選択しても消去できません。

移調: 0 ♩=120 拍子: 4
SE8_001.MID

2. 消去したいパートを選択します。

データの入っている[パート1]～[パート6]ボタンのいずれかを押しながら[消去]ボタンを押します。

[消去]ボタンのランプが点滅し、画面に「トラック消去[NO]/[YES]?」と表示されます。

移調: 0 ♩=120 拍子: 4
トラック消去 [NO] / [YES] ?
トラック:1

消去をキャンセルする場合は、[-1/NO]ボタンを押します。

● [パート5]ボタンを押しながら[消去]ボタンを押した場合

画面のカーソルがトラック表示に移動します。

移調: 0 ♩=120 拍子: 4
トラック消去 [NO] / [YES] ?
トラック:5

[-1/NO]または[+1/YES]ボタンを押して、消去したいトラック「5～9」のいずれかを選択し、もう一度[消去]ボタンを押します。

画面に「トラック消去[NO]/[YES]?」と表示されます。

移調: 0 ♩=120 拍子: 4
トラック消去 [NO] / [YES] ?
トラック:5

3. トラック消去を実行します。

[+1/YES]ボタンを押すとトラック消去が実行されます。

[消去]ボタンのランプが点灯し、画面の左下に「書き込み中」と表示されます。

注意

「書き込み中」表示が出ている間は、絶対にUSB記憶装置を抜いたり電源を切ったりしないでください。USB記憶装置が壊れたり、データが壊れたりするおそれがあります。

4. 終了

消去が完了すると、[消去]ボタンのランプが消灯し、通常のソング選択表示に戻ります。

他の機器と接続

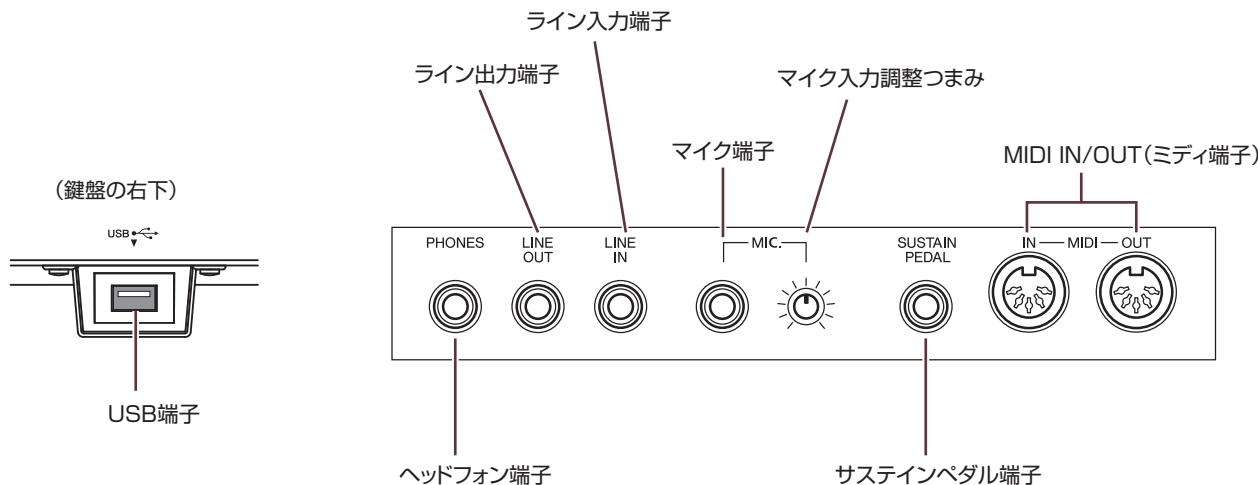


外部機器と接続するときは、すべての機器の電源を切った上で行ってください。

また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小にしてください。

必ず実行

感電または機器の損傷のおそれがあります。



USB端子

USB記憶装置を接続して、ソングデータを録音/再生することができます。

ヘッドフォン端子(ステレオ)

ステレオヘッドフォンを接続する端子です。ヘッドフォン使用時には、SE-8000本体のスピーカーからは音が出なくなります。

ライン出力端子(モノラル)

他の機器にSE-8000の音を出力したいときに使います。アンプ内蔵スピーカー等に接続して、より迫力のある演奏ができます。

※ ライン出力端子とライン入力端子を同時にレコーダー等の外部機器に接続しないでください。故障の原因になる場合があります。

ライン入力端子(ステレオ)

他の電子楽器等の出力を接続することで、SE-8000本体のスピーカーから音を出すことができます。

マイク入力端子(モノラル)

マイクロフォン(ダイナミックマイクまたは電池内蔵のコンデンサマイク)を接続することで、SE-8000本体のスピーカーからマイクの音声などを出すことができます。

マイク入力調整つまみ

マイクの音量を調整します。右に回すほどマイクの音量が大きくなります。

※マイクプラグの抜き差しは、電源を切ってから行なうか、マイク入力調整つまみを左いっぱいに回してから行なってください。

サスティンペダル端子

FC-4、FC-5等のフットスイッチ(別売)を接続すると、サスティンのオン、オフを足元でコントロールすることができます。フットスイッチを踏んでいる間だけ、サスティン効果がかかります。

※フットスイッチを踏んだままで電源を入れると、オン/オフが反転してしまいます。フットペダルから足を離した状態で電源を入れてください。

MIDI IN/OUT(ミディ端子)

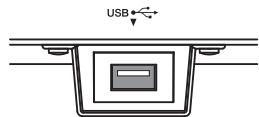
別売のMIDIケーブルを使って、外部MIDI機器と接続する端子です。

詳しくは、25ページの「MIDIについて」をご覧ください。

USB端子について

USB端子ご使用上の注意

[USB]端子は、USBフラッシュメモリーなどのUSB記憶装置を接続する端子です。USB端子にUSB機器を接続する場合は、以下のことをお守りください。



NOTE

USB機器の取り扱いについては、お使いのUSB機器の取扱説明書もご参考ください。

■ 使用できるUSB機器

USB対応の記憶装置(フラッシュメモリー、フロッピーディスクドライブ、ポケットレコーダー)

動作確認済みUSB機器については、ご購入の前にインターネット上の下記URLをご確認ください。

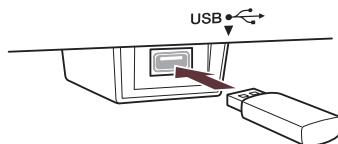
<http://www.yamaha.co.jp/edu/teachers/catalog/se/index.html>

NOTE

上記以外のUSB機器(マウス、コンピューターのキーボードなど)は、接続しても使えません。

■ USB機器の接続

USB端子の形状に合うプラグを上下の向きに注意して差し込んでください。



注意

- 大型のUSB機器は、USB端子に直接挿入できません。無理に挿入して、双方の本体が破損したり、故障や動作不良の原因になることがあります。その際は、USBケーブルを使用して接続してください。
- USBケーブルで接続する場合、3メートル以下のケーブルをご使用ください。
- 本機はUSB1.1に対応していますが、USB2.0の機器でも使用できます。ただし転送スピードはUSB1.1相当になりますので、ご了承ください。
- 本機の電源オン／オフやUSBケーブルの抜き差しは、6秒以上間隔を空けて行ってください。

USB記憶装置の取り扱いについて

本機にUSB記憶装置を接続すると、楽器本体で制作したデータをUSB記憶装置に保存したり、USB記憶装置のデータを楽器本体で再生したりできます。

■ 接続できるUSB記憶装置の数

同時に使用できるUSB記憶装置は、1台のみです。
(USBハブは使用できません。)

■ USB記憶装置のフォーマット

USB記憶装置の中には、本機で使用する前にフォーマットが必要なものがあります。USB端子にUSB記憶装置を接続したとき(またはUSB記憶装置にフロッピーディスクなどのメディアを挿入したとき)に、フォーマットを促すメッセージ「フォーマットエラー」が表示された場合は、コンピューターでメディアのフォーマットを実行してください。(この楽器では、フォーマットできません。)

注意

フォーマットを実行すると、そのメディアの中身は消去されます。必要なデータが入っていないことを確認してからフォーマットしてください。

■ 誤消去防止

USB記憶装置には、誤ってデータを消してしまわないようライトプロテクト機能のついたものがあります。大切なデータが入っている場合は、ライトプロテクトで書き込みができないようにしましょう。逆にデータを保存する場合などは、ご使用の前にお使いのUSB記憶装置のライトプロテクトが解除されていることをご確認ください。

■ USB記憶装置の抜き差し

USB記憶装置を外すときは、再生／録音／消去などデータのアクセス中でないことをあらかじめ確認したうえで外してください。

注意

USB記憶装置の頻繁な電源のオン／オフや抜き差しをしないでください。SE-8000の機能が停止するおそれがあります。再生／録音／消去などの実行中やUSB記憶装置の認識中のメッセージが表示されているときは、USBケーブルを抜いたり、USBフラッシュメモリーを抜いたり、USB記憶装置からメディアを取り出したり、双方の電源を切ったりしないでください。メディアが壊れたり、メディアのデータが壊れたりするおそれがあります。

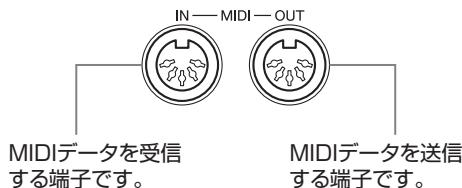
MIDIについて

この楽器には、MIDI端子がついています。MIDI機能を使って他の楽器やコンピューターとデータを送受信することにより音楽の幅を広げることができます。

MIDI(ミディ)って何?

MIDI(Musical Instrument Digital Interface)とは、MIDI端子を備えたMIDI機器間や、MIDI機器とコンピューター間で演奏データや命令を送受信しあうための、各種送受信データ様式についての統一規格です。

MIDI機器間(MIDI機器とコンピューター間)でMIDIデータを送受信することにより、この楽器から外部のMIDI機器の演奏をコントロールしたり、外部のMIDI機器やコンピューターからこの楽器をコントロールしたりすることができます。



MIDI機器の中でも、機種ごとに送受信できるMIDIデータの内容が同じではないため、接続しているMIDI機器間で共通に扱えるデータや命令だけが送受信できることになります。この楽器で扱えるデータや命令については、31ページの「MIDIインプリメンテーション・チャート」をご覧ください。

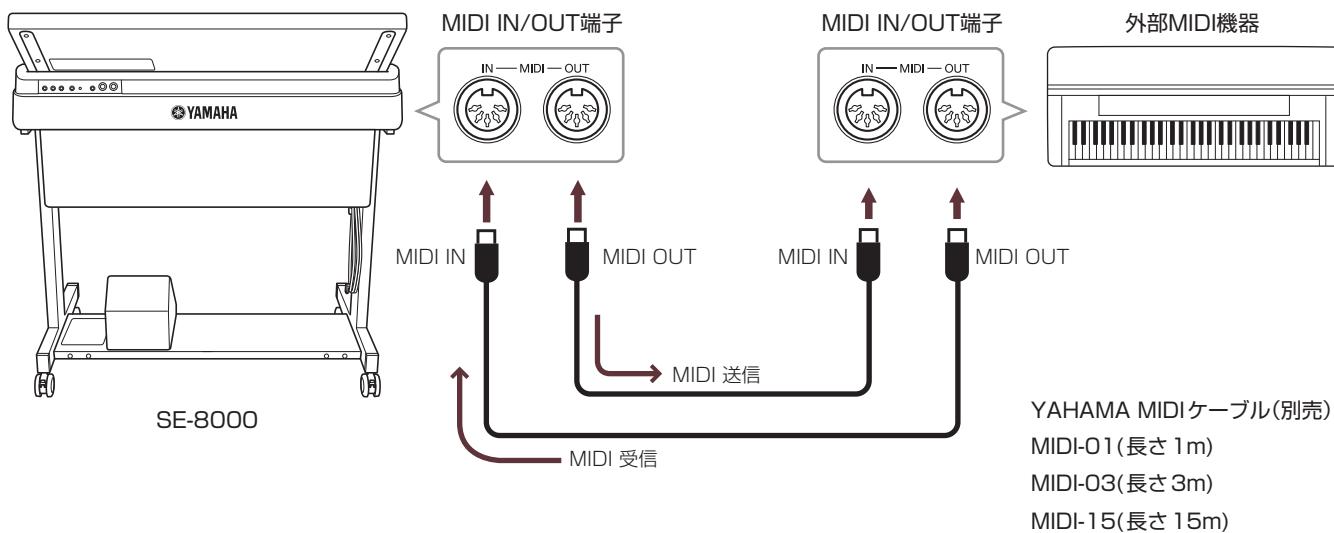
外部MIDI機器との接続

MIDI機器の接続には、専用のMIDIケーブル(別売)が必要です。楽器店などでお買い求めください。

- この楽器で鍵盤演奏した際、接続したMIDI機器もそれ自身の音色で同時に鳴らすことができます。
- この楽器で音色を切り替えた際、接続した機器の音色も同時に切り替えることができます。切り替わる音色は接続したMIDI機器によります。
- リズムやメトロノーム、市販のMIDIデータの情報は送信しません。

注意

外部機器と接続するときは、すべての機器の電源を切った上で行ってください。



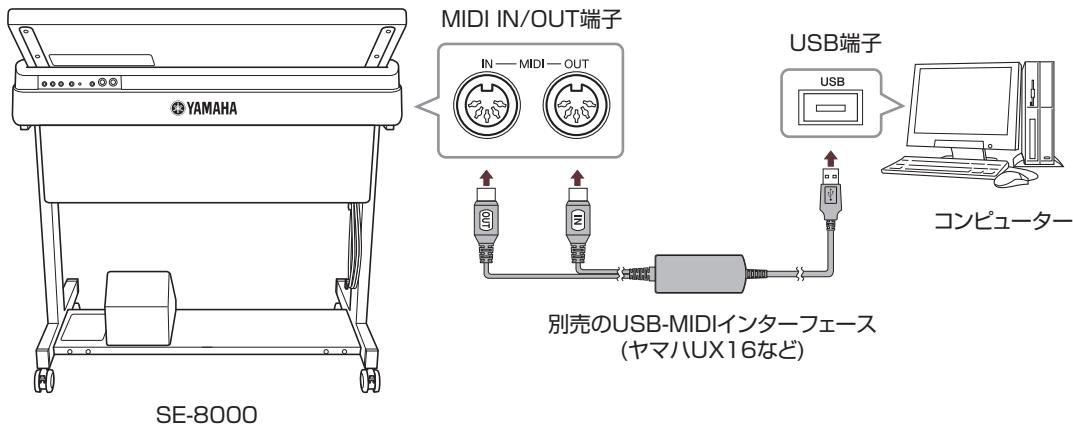
コンピューターと接続

コンピューターをこの楽器のMIDI端子につなげば、コンピューターとの間でMIDIデータを送受信できるようになります。たとえば、この楽器で演奏した演奏情報をコンピューターに送信してコンピューターに記録することができます。

コンピューターのUSB端子とこの楽器のMIDI端子を、別売のUSB-MIDIインターフェース(YAMAHA UX16など)を使用して接続します。USB-MIDIインターフェースを使用するには、ドライバーを正しくインストールする必要があります。詳しくは、USB-MIDIインターフェースに付属の取扱説明書をご参照ください。

注意

コンピューターと接続するときは、最初にSE-8000の電源を切り、コンピューター上のすべてのアプリケーションソフトを終了した状態でケーブルを接続し、その後SE-8000の電源を入れてください。



NOTE

コンピューターとSE-8000の間でMIDIデータを送受信するためには、コンピューター側にアプリケーションソフトが必要です。また、この楽器を音源として使う場合、この楽器にない音色が使われている演奏データは、正しく再生されません。

再生できるデータについて

この楽器は各種の代表的なフォーマット(形式)の曲データを再生することができます。ここでは、この楽器で再生できる曲データのフォーマットをご紹介します。

市販のいろいろな種類のミュージックデータや、電子楽器などで録音した曲データ、コンピューターなどで作成した曲データについても、下記のフォーマットに該当していれば、この楽器で再生できます。

■ MIDIファイル

「シーケンスフォーマット」、「音色配列フォーマット」それぞれについて、下記のいずれかに該当していないと、再生できなかったり、正しく再生できなかったりします。

● シーケンスフォーマット

曲データを記録する書式のことをシーケンスフォーマットと言います。

SMF(スタンダードMIDIファイル)

市販の多くの曲データで採用されている代表的なシーケンスフォーマットの1つです。
SMFには「フォーマット0」と「フォーマット1」の2種類がありますが、この楽器は、両方に対応しています。

ESEQ

ヤマハの多くの機器やミュージックデータで採用されている代表的なシーケンスフォーマットの1つです。

● 音色配列フォーマット

MIDIでは音色を番号で指定します。その番号のつけ方(音色を並べる順番)の規格を「音色配列フォーマット」といいます。



GMシステムレベル1

メーカー・機種が異なる音源でも、ほぼ同じ系統の音色で演奏が再現されることを目的に設けられた音色配列フォーマットです。市販のミュージックデータの多くが「GMシステムレベル1」で作られています。



XG

「GMシステムレベル1」をさらに拡張し、豊かな表現力とデータの継続性を可能にしたヤマハの音源フォーマットの音色配列です。

■ オーディオファイル

リニアPCM (.wav)

アナログ信号である音声を一定の周期でサンプリングし、デジタル信号として圧縮せずに保存する録音方式です。音質は優れていますが、データサイズが大きくなります。

MPEG-1 Layer-3 (.mp3)

映像圧縮規格 MPEG-1 で使われる音声圧縮方式の1つです。圧縮率を高めると、データサイズは小さくなりますが、音質が劣化します。

MPEG-4 Audio (.aac、.m4a)

映像圧縮規格 MPEG-4 で使われる音声圧縮方式です。
.mp3よりも圧縮効率に優れています。本機で再生する場合の音声圧縮方式は.m4aをお薦めします。

※ ファイルサイズが10MB以上の.aac,.mp3ファイルは認識(選択)できません。

メッセージ一覧

メッセージ	原因	対処
「ファイルオープンエラー」 「ファイルリードエラー」 「ファイルクローズエラー」	ファイルの読み込みでエラーが発生した。	USB機器の接続、メディアの内容を確認してください。
「ファイルライトエラー」	ファイルの書き込みでエラーが発生した。	USB機器の接続、メディアの内容を確認してください。
「フォーマットエラー」	未フォーマットのメディアを挿入した。	メディアのフォーマットを確認してください。
「MIDIエラー」	MIDIデータの送受信でエラーが発生した。	MIDI機器との接続を確認してください。
「再起動してください。」	本機の再起動が必要になった。	[電源]ボタンを押して電源を入れ直してください。
「USB機器が抜かれました」	USB機器が抜かれた。	表示が消えるまで待ってください。
「メディアを認識中...」	USBメディアが挿入された。	
「メディアが抜かれました」	USBメディアが抜かれた。	
「録音できません。」	USB機器が挿入されていない、またはライトプロテクトされている。	USB機器の接続と、ライトプロテクトの状態を確認してください。
「失敗しました」	ファイル削除、トラック削除に失敗した。	USB機器の接続、メディアの状態を確認してください。
「USB機器エラー」	USB機器へのアクセスでエラーが発生した。	
「システムファイルエラー」	システムファイルへのアクセスでエラーが発生した。	
「メモリフルエラー」	録音中にデータサイズがメディアの残容量または録音用内蔵メモリの容量を超えそうになった。	不要なソングの削除や、選択しているソングの不要なトラックを削除してください。
「ディスクフルエラー」	USB機器への書き込みでディスクフルが発生した。	USB機器内の不要なファイルを削除してください。
「ファイルエラー」	ファイルへのアクセスでエラーが発生した。	USB機器の接続、メディアの状態を確認してください。
「ファイルが大きすぎます」	選択したファイルのサイズが大きすぎたため、読み込みに失敗した。	ファイルのサイズを小さくしてください。
「USB機器接続エラー」	USB機器の接続に失敗した。	USB機器の接続、メディアの状態を確認してください。
「USB機器過電流エラー」	USB機器に異常な電流が流れた。	USB機器を抜き、他のUSB機器を使用してください。
「FATサイズオーバー」	USB機器のFATサイズが、FAT内部保存領域より大きい。	使用するUSB機器の容量を4GB以下にしてください。
「ファイルが多すぎます」	選択したフォルダ内のファイルやフォルダの総数が250個を超えています。	ファイルやフォルダの総数を250個以下にしてください。

困ったときは

画面にメッセージが表示された場合は、メッセージ一覧(28 ページ)をご参照ください。

困ったときは、下記の事項をご確認ください。それでも正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められた場合は電源ボタンを切り、電源プラグをコンセントから外して、お買い上げ店または別紙のヤマハ修理ご相談センターへお問い合わせ、サービスをご依頼ください。

現象	原因と解決法
電源が入らない。	電源プラグが差し込まれていません。電源プラグを本体と家庭用(AC100V)コンセントに、確実に差し込んでください。
電源ボタンを押して電源を入れたとき、または切ったとき、「カチッ」と音がする。	電気が流れたためです。異常ではありません。
オルガンから雑音が出る。	オルガンの近くで携帯電話を使ったり、呼び出し音が鳴ったりすると、雑音が出る場合があります。オルガンの近くに携帯電話を置かないでください。
全体的に音が小さい。または、まったく音出ない。	エクスプレッションペダルが踏み込まれていません。適切な音量にセットしてください。
	音量が下がっています。[全体音量]レバーで音量を上げてください。
	ヘッドフォンを接続しているとスピーカーからは音が出ません。ヘッドフォンのプラグを抜いてください。
音が割れる。共鳴する。ビリつく。	音量を上げすぎると、本体や周囲の器物に共鳴して、音が割れて聞こえることがあります。音量を下げてください。
一瞬音が途切れる。	音量を上げすぎると、保護回路が作動する場合があります。音量を下げてください。
[SUSTAIN PEDAL]端子に接続したペダルのオン/オフが逆になる。	フットスイッチを踏んだままで電源を入れると、オン/オフが反転します。フットペダルから足を離した状態で電源を入れ直してください。
ソングデータの重ね録音ができない。	SE-8000で録音したソングのみ重ね録音できます。それ以外は、上書きや重ね録音ができません。異常ではありません。
ソングデータの消去ができない	SE-8000で録音したソングのみ消去できます。それ以外は消去できません。異常ではありません。
USB 機器がフリーズする。	使用できるUSB機器をご確認ください(24 ページ)。
USB 記憶装置の動作が不安定になっている。	USB記憶装置をいったん外し、6秒以上待ってから接続し直してください。

仕様

音 源	AWM2音源
同時発音数	最大64音
鍵 盤	61鍵 Cスケール(5オクターブ)
音 色	<p>全128音色</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ パネル音色 8音色 オルガン、ピアノ、ハープシコード、グロッケン、クラリネット、ストリングス、コントラバス1、コントラバス2 ■ GM音色 128音色(パネル音色 8音色を含む) XG音色 480音色(GM音色 128音色を含む) <p>※演奏にはパネル音色、GM音色に加え、USB記憶装置、MIDI入力によりXG音色も使用できます。</p>
打楽器音色	<p>パネル 9ドラムキット 151音色</p> <p>XG音色 11ドラムキット 162音色(パネルドラムキットを含む)</p> <p>※演奏にはパネル音色に加え、USB記憶装置、MIDI入力によりXG音色も使用できます。</p>
リズム	<p>10種類+メトロノーム</p> <p>8ビート、16ビート、シャッフル、スウィング、マーチ、マーチ6/8、ワルツ、サンバ、ビギン、チャチャチャ、イントロ/エンディング</p>
効 果	ビブラート、リバーブ、サステイン、タッチレスポンス
コントロール	電源、全体音量、リズム/再生音量、移調、チューニング、リズムテンポ、リズム拍子
シーケンサー	選曲/小節、再生/一時停止、停止、早送り、繰り返し、録音、消去、パート(パート1~6)
外部入出力	USB (TO DEVICE)、マイク入力(モノラル)、ライン入力(ステレオ)、ライン出力(モノラル)、ヘッドフォン(ステレオ)、サステインペダル、MIDI (IN/OUT)
メインアンプ	最大定格出力 40W + 40W
スピーカー	ウーファー 13cm(4Ω)×2、ツィーター 5cm(16Ω)×2、モニター 5cm(16Ω)×2
定格電圧	AC 100V
周波数	50Hz/60Hz
消費電力	43W
寸 法	間口 101.1cm、奥行 50.4cm、高さ 82.2cm
重 量	35kg
付属品	椅子(SCS-2)、取扱説明書(本書)、簡単操作ガイド、保証書

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

付録

YAMAHA [学校用オルガン]
Model SE-8000

MIDIインプリメンテーション・チャート

Date : 01-MAR-2011
Version : 1.0

ファンクション		送信	受信	備考
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能	1チャンネル 1~11チャンネル	1~16チャンネル ×	
モード	電源ON時 メッセージ 代用	3 × *****	3 × ×	
ノートナンバー 音域		12~120 *****	0~127 0~127	
ペロシティー	ノート・オン ノート・オフ	○ 9nH, v=1~127 × 9nH, v=0	○ 9nH, v=1~127 ×	
アフターツッピング	キー別 チャンネル別	×	○ ○	
ピッチ・ペンド		×	○ 0~24 semi	
コントロールチェンジ	0、32 1、5、7、10、11 6、38 64~67 71~74 84 91、93、94 96~97 98~99 100~101	○ 1、7、11 ○ 5、10 × × × 72 ○ 71、73、74 × × 91 ○ 93、94 × × × ×	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	パンクセレクト データエントリー サウンドコントローラー ¹ ポルタメントコントロール エフェクトデプス RPN データ Inc, Dec NRPN LSB, MSB RPN LSB, MSB
プログラムチェンジ 設定可能		○ 0~127 *****	○ 0~127	
システム・エクスクルーシブ		○	○	
コモン	ソング・ポジション ソング・セレクト チューン	×	×	
リアルタイム	クロック コマンド	○ ○	× ×	
その他	オール・サウンド・オフ リセットオールコントロール ローカルON/OFF オール・ノート・オフ アクティブ・センシング リセット	× × × × ○ ×	○ (120、126、127) ○ (121) ○ (122) ○ (123~125) ○ ×	

モード1：オムニ・オン、ポリ モード2：オムニ・オン、モノ
モード3：オムニ・オフ、ポリ モード4：オムニ・オフ、モノ

○：あり
×：なし



この取扱説明書は
大豆油インクで印刷しています。

この取扱説明書は
エコパルプ(ECF:無塩素系漂白パルプ)を
使用しています。